

想定最大規模降雨に対応した ハザードマップの作成・周知

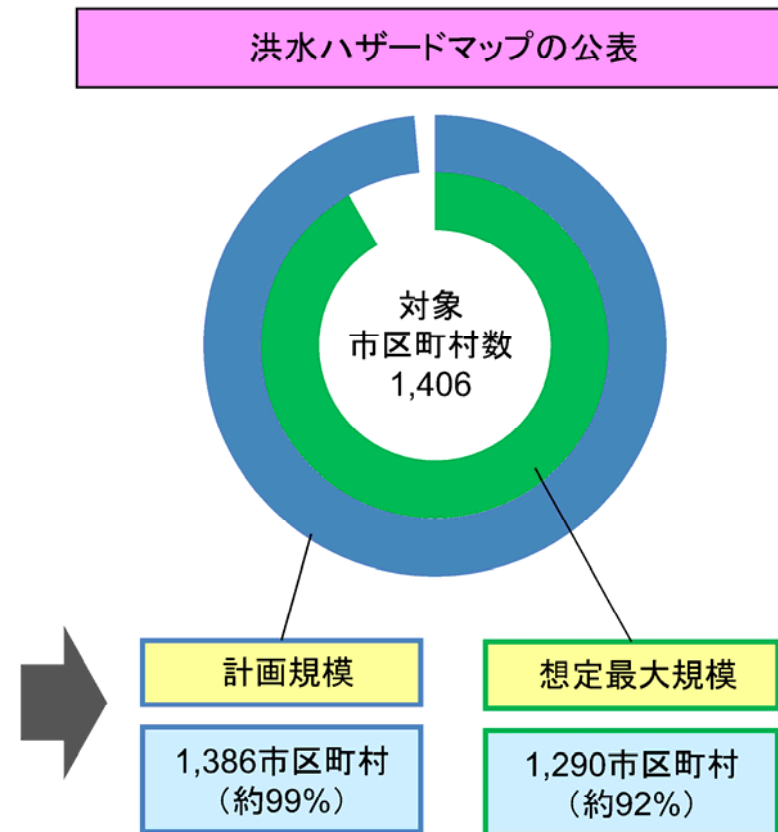
令和5年6月

洪水浸水想定区域の指定と洪水ハザードマップの公表状況

- 洪水予報河川及び水位周知河川における洪水浸水想定区域(想定最大規模)の指定率は100%。
- 洪水ハザードマップの作成率は、想定最大規模対応は約92%、計画規模対応は約99%。

洪水浸水想定区域の指定			
	対象河川数	指定済み河川数	
		計画規模	想定最大規模
国管理河川	洪水予報河川 298	298 (100%)	298 (100%)
	水位周知河川 150	150 (100%)	150 (100%)
	計 448	448 (100%)	448 (100%)
都道府県管理河川	洪水予報河川 130	130 (100%)	130 (100%)
	水位周知河川 1,606	1,606 (100%)	1,606 (100%)
	計 1,736	1,736 (100%)	1,736 (100%)
	計 2,184	2,184河川 (100%)	2,184河川 (100%)

令和4年3月末時点

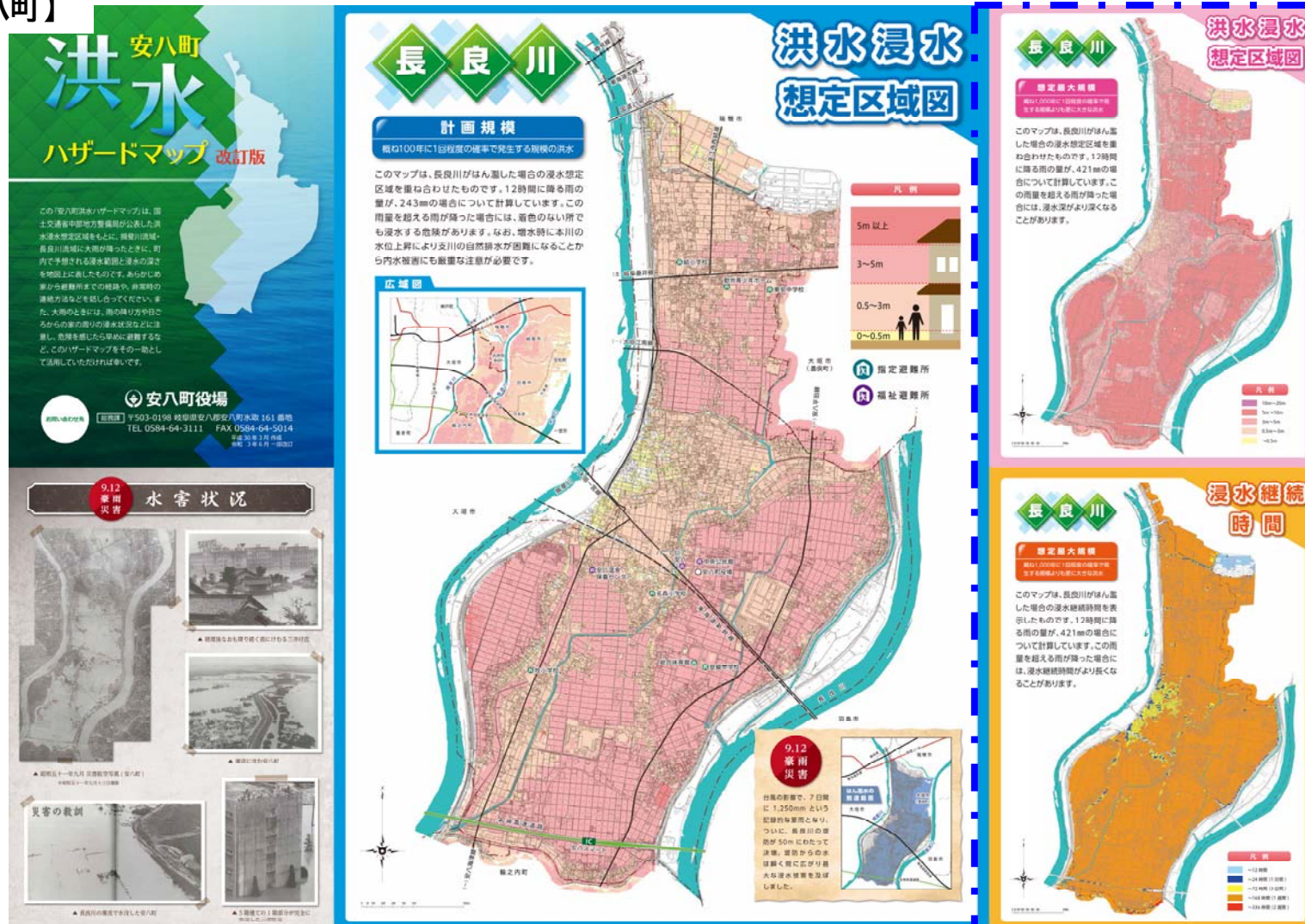


1. 想定最大規模降雨のハザードマップ作成事例 ①

○ほぼ全域が浸水する事例

○計画規模のハザードマップが主体であるが、**想定最大規模の浸水想定区域図と浸水継続時間を記載し、リスクを示している**(リスクの周知)

【岐阜県安八町】



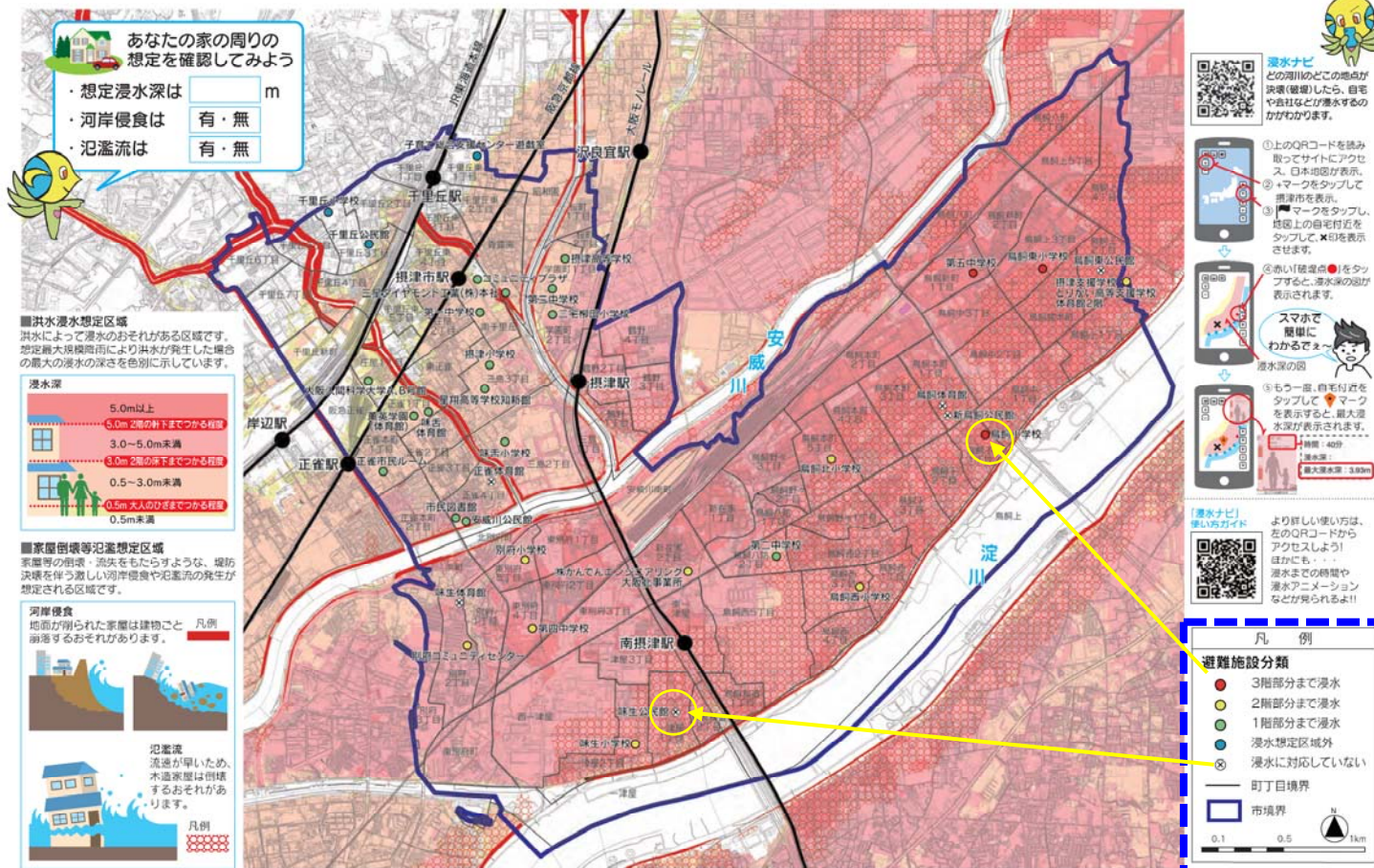
1. 想定最大規模降雨のハザードマップ作成事例 ②

○ほぼ全域が浸水する事例

○避難所の浸水レベルを記載し、想定最大規模の避難所の対応可否を表示 (リスクの周知+避難所の周知)

【大阪府摂津市】

洪水による氾濫で、市内ほぼ全域が浸水！ 洪水浸水想定区域図(想定最大規模) [淀川と安威川・山田川・正雀川・大正川・境川の重ね合わせ図]



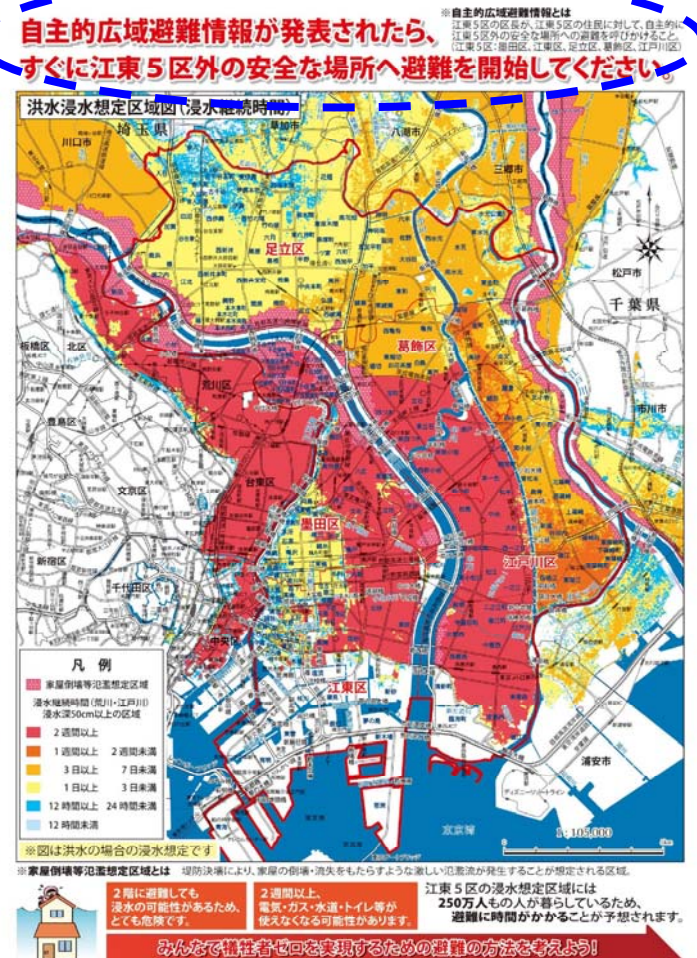
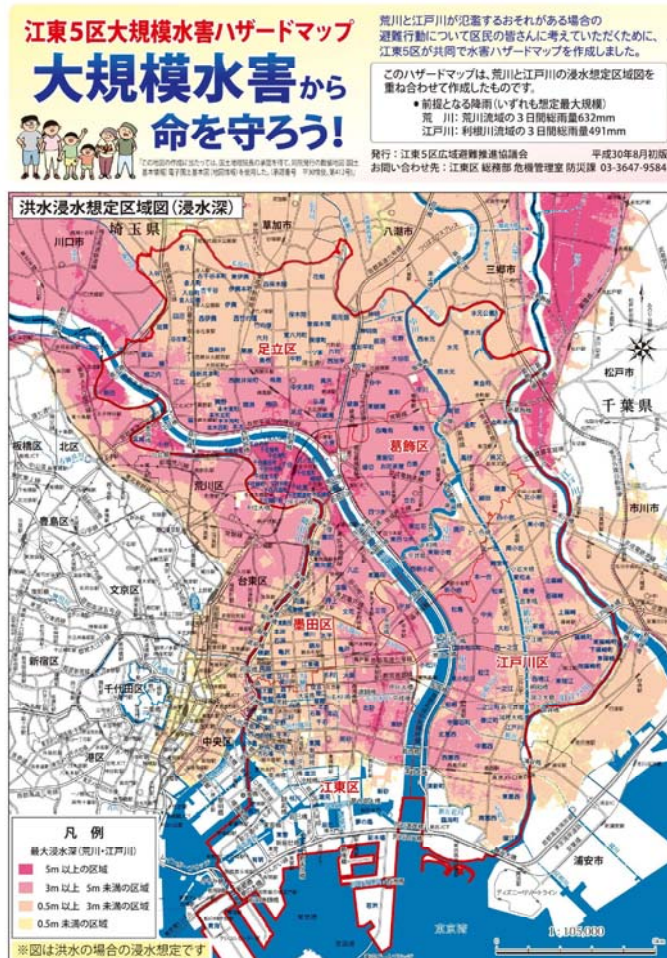
1. 想定最大規模降雨のハザードマップ作成事例 ③

○避難対象人口が多数の事例

○自主的広域避難情報発表後、すぐに江東5区(墨田区・江東区・足立区・葛飾区・江戸川区)以外の安全な場所へ避難を開始

○自主的広域避難情報(タイミング)を発令し、広域避難を基本としつつ、多様な避難方法を表示

【東京都江東5区】



1. 想定最大規模降雨のハザードマップ作成事例 ③

○避難先は江東5区以外とし、具体的な避難先までは明示していない

大規模水害が起きる可能性がある場合には、江東5区のほぼ全域に広域避難勧告が発令されます。各区からの情報に注意して、適切な避難行動を取ってください。

江東5区で発令する避難情報について

- 7.2時間前 (3日前)** 共同検討開始
江東5区が共同で、大規模水害への対応について検討します。
 - 4.8時間前 (2日前)** 自主的広域避難情報を発表します
広域避難勧告を発令する前に、自主的に江東5区外の安全な場所への避難を呼びかけます。
 - 2.4時間前 (1日前)** 広域避難勧告を発令します
区長が、江東5区外の地域への避難を勧告します。
 - 9時間前** 域内垂直避難指示(緊急)を発令します
広域避難をする時間的な猶予がないと判断した際に垂直避難行動をとるように区長が指示を出します。
- 氾濫発生** 大規模水害発生後、浸水しなかった区域の住民は、速やかに帰宅してください。



江東5区では、非浸水地域の自治体と避難の受け入れについての協議を進めています。具体的な場所はまだ特定できていません。避難場所を開設できたとしても限りがあり、また混雑してプライバシーを確保することも難しいです。そのため、早めに浸水しない地域の親戚・知人宅やホテル、民宿、勤務先等の避難先に避難しましょう。



江東5区外の親戚・友人宅等の避難先の確保をお願いいたします。

避難の方法

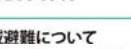
電車での避難

雨風が強まる前に利用する交通機関の最新の情報を取得し、早めに避難を開始してください。



徒歩・自転車での避難

避難の開始が遅れると、橋梁部で混雑する可能性があります。交通誘導に従って、落ち着いて避難しましょう。



自動車での避難

1日以上前に避難する(自主避難)場合: 誰でも車で避難可能
1日前に広域避難勧告が発令があった場合: 避難行動要支援者やその付添者は車で避難可能

自動車での避難は、大渋滞が発生し、避難に間に合わなくなってしまう。そのため、御身体が不自由な要配慮者とその付添者以外の方は、広域避難勧告発令後に自動車での避難をするのは、ご遠慮ください。

江東5区外への広域避難について

- 浸水しない地域の親戚、友人、知人宅などに避難させてもらえないか検討する。
- もし避難できる親戚、友人、知人宅などのあてがあれば、事前をお願いしておく。
- 民間の宿泊施設へ避難する。
- 江東5区は関係機関と協議して、公的な避難先も決めています。



歩行が困難で公共交通機関を利用して江東5区外へ避難ができない方

- 車での早めの避難を検討する。
- 近隣の小・中学校への避難を考慮しておく。
- 避難時に常備薬や食料も持参する。
- ※近隣の小・中学校に避難した場合も、街が浸水するとライフラインが使えなくなります。



自宅に留まらざるを得ない時の屋内安全確保のポイント

- 2週間以上の浸水に備えて、水・食料・簡易トイレ・卓上コンロ・充電器等を、あらかじめ備蓄しておく。
- 浸水する際の貴重品や電化製品等は、浸水しない階まで上げる。
- 漏電を防ぐため、浸水する際の電化製品のコンセントは抜いて、ブレーカーも落とす。



高潮による氾濫について

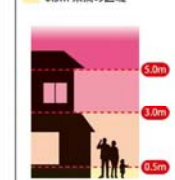
江東5区大規模水害ハザードマップは、荒川と江戸川が氾濫した場合の想定を示したものです。しかし、中心気圧930hPa以下の猛烈な台風が東京に接近した場合には、高潮が発生して、江東5区のほぼ全域が浸水するおそれがあります。高潮が発生するおそれがある時は、江東5区が早い段階で広域避難勧告を発令し、避難を呼びかけますので、区からの情報に注意してください。

高潮浸水想定区域図(浸水深)

高潮浸水想定区域図(浸水深、浸水継続時間)
※我が国歴史上最大規模の台風(管戸台風級: 910hPa)を想定
・東京湾に最大の高潮を生じさせるような台風の経路を設定
・高潮と同時に河川での洪水を考慮
・最悪の事態を想定し、堤防等の決壊を見込む
※下図は、東京都港湾局・建設局の高潮浸水想定区域図を基に作成したものです。
詳細図は、東京都港湾局・建設局のホームページからご覧いただけます。

高潮浸水想定区域図(浸水深)

- 凡例**
- 最大浸水深(東京都高潮)
 - 5m以上の区域
 - 3m以上 5m未満の区域
 - 0.5m以上 3m未満の区域
 - 0.5m未満の区域



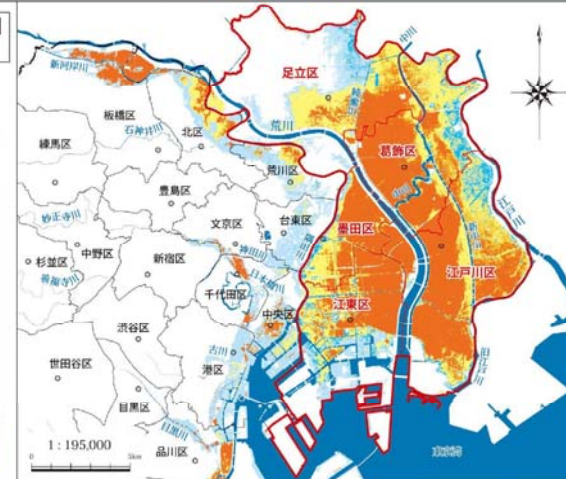
※図は東京都内の想定を示したものです



高潮浸水想定区域図(浸水継続時間)

- 凡例**
- 浸水継続時間(東京都高潮)
 - 浸水深50cm以上の区域
 - 1週間以上
 - 3日以上 7日未満
 - 1日以上 3日未満
 - 12時間以上 24時間未満
 - 0時間以上 12時間未満

※浸水継続時間の最長区分(1週: 2週間以上、最長: 1週間以上)の範囲は、それぞれの浸水継続時間の想定区域図よりも広範囲であり、実際の浸水継続時間の長さよりも長い場合があります。

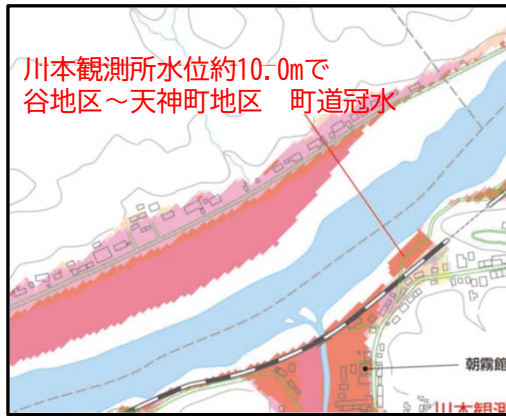


1. 想定最大規模降雨のハザードマップ作成事例 ④

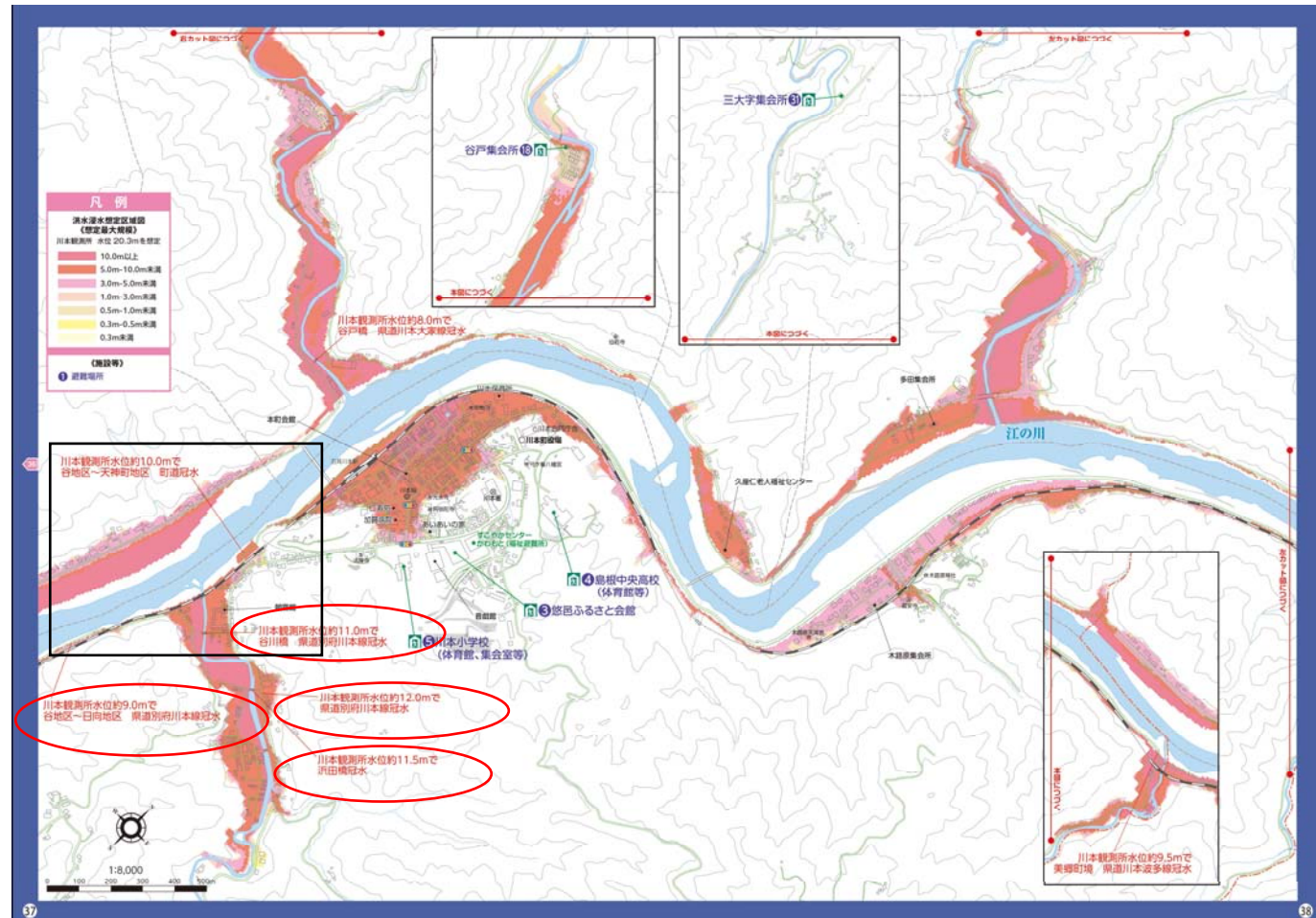
○山間部の川沿いの事例

○公表されている観測所の水位と道路冠水のタイミングを記載することで、避難経路の確認と逃げるタイミングを周知する(リスクの周知+避難所の周知+避難のタイミング周知)

【島根県川本町】



この水位が10.0以上になったら冠水し、通行不可になる。



スマホやPCで水位が確認出来る
(下記は「川の防災情報」で見た
川本観測所の水位)

2. 避難体制に関する情報提供（広域避難に関する情報）

- 内閣府(防災担当)が令和3年5月に「水害からの広域避難に関する基本的な考え方」を作成
- また、「水害からの広域避難事例集」を作成し、先進的な取組を紹介

水害からの広域避難に関する基本的な考え方

令和3年5月
内閣府(防災担当)

水害からの広域避難事例集



空振りをおそれず、早めの避難！！
災害から命を守る！！



内閣府(防災担当)

水害からの広域避難に関する協議会の概要



2. 避難体制に関する情報提供（広域避難に関する情報）

○避難体制の構築方法の事例

○江東5区内の江戸川区では、大規模水害時の自主的広域避難（分散避難）を推奨

大規模水害時の自主的広域避難（分散避難）について

本区はひとたび大規模水害に見舞われてしまうと、2週間以上にわたり水が引かないことが想定されています。このため事前の自主的広域避難を推奨しています。この避難は事前に浸水しない区外の親戚・知人宅などを自分で避難先を確保することが重要です。親戚や知人等に頼ることが難しい方については、自身でホテル等の予約を行い、宿泊することも有効です。日ごろからいざという時のために備えましょう。

避難先の確保

台風進路を避け、予報円の外に広域避難することを推奨します。自主的広域避難先のご検討をお願いいたします。

なお、公的な広域避難先については、国と東京都で「首都圏における大規模水害広域避難検討会」を置いて、その中で分析検討を行っています。

大規模水害時 広域避難先イメージ



協定団体

協定を締結した旅行会社、ホテル・旅館団体のWebサイトになります。（リンク先は通常の予約サイトや宿泊施設照会先となっており、必ずしも区民の優先予約が確保されるものではありません。ご自身でどこに避難するかを決めて予約してください）

- 株式会社近畿日本ツーリスト
- 東京都ホテル旅館生活衛生同業組合
- 日本旅館協会東京都支部
- 一般社団法人日本ホテル連盟

協定内容

- 大規模水害時における住民の自主的広域避難場所の確保支援に関する基本協定

広域避難に伴う補助金申請について

江戸川区では江東5区による避難情報を発令した時、広域避難のために区外の宿泊施設を利用した区民の方に対して、一人あたり最大9,000円（1泊一室3,000円、3泊までを限度）の補助金の申請が可能です。詳しくは、下のページをご覧ください。

- 大規模水害時自主的広域避難補助金

ホテル選択のポイント

- 江東5区（墨田区・江東区・足立区・葛飾区）は避ける
- JR総武線御茶ノ水以西は台地であり浸水リスクは低い
- 山間部のホテルは土砂災害のリスクに留意が必要など



広域避難に伴う補助金制度を
完備しています。